

新座キャンパス AV サポートについて

1. 概要

2013年4月から2014年3月まで新座キャンパス AV 機器サポートに関する内容の集計を以下に示す。

2. サポート明細について

(1). サポート受付内容

サポート受付総数に対する割合は以下のとおりである。トラブル対応・機器設置・操作説明・機器貸出・イベント対応の順となる。

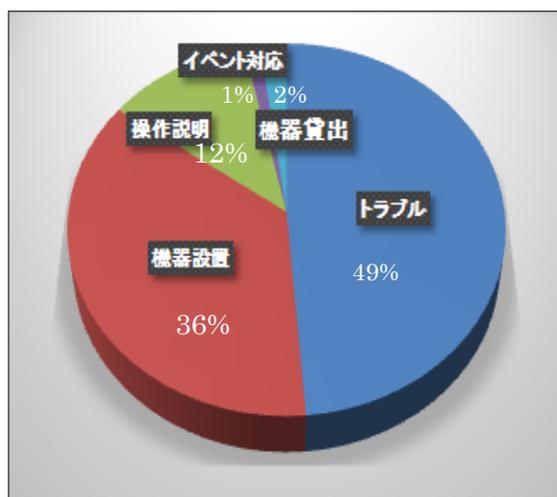


図 1 サポート受付内容

(2). 各項目の明細

① トラブル対応の内容

AV 機器では主に DVD や VHS プレーヤーの再生について・操作卓では操作に関する問題・PC ではプロジェクターへの投写・プロジェクター(プラズマ)では画質・スクリーンでは動作・マイクでは音が出ない・テレビ会議では接続できないなどの内容が多い。

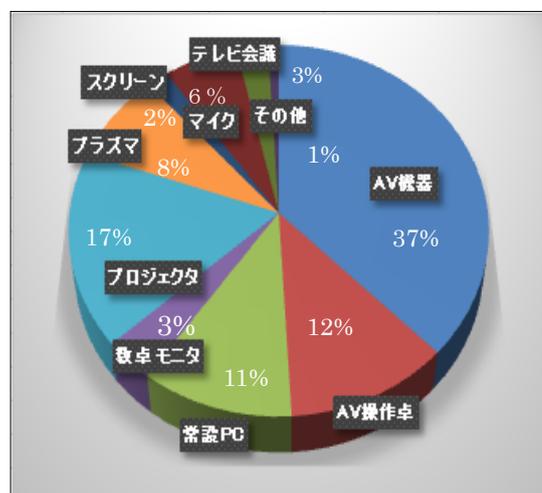


図 2 トラブル対応内容

② 機器設置の内容

AV 機器全般の中では外部プレーヤー（ブルーレイや世界対応 DVD プレーヤー）の設置が多く、他にビデオカメラや IC レコーダーなどの設置もある。立ち会いとは、主に英語リスニングテスト用 CD プレーヤーのセットを示す。

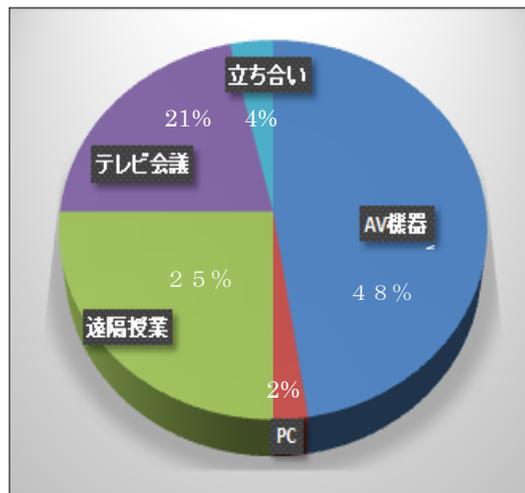


図 3 機器設置内容

③ 操作説明の内容

AV 機器の中では、特にプレーヤー関連や書画カメラ等の説明が多い。その他外部機器の接続に関する説明も時々依頼がある。また、最近ではテレビ会議に関する内容が増えつつある。

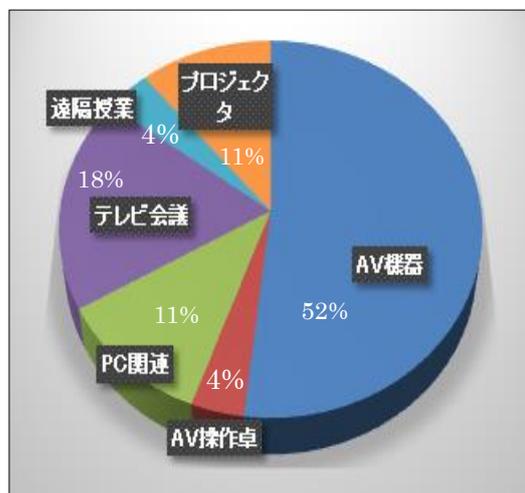
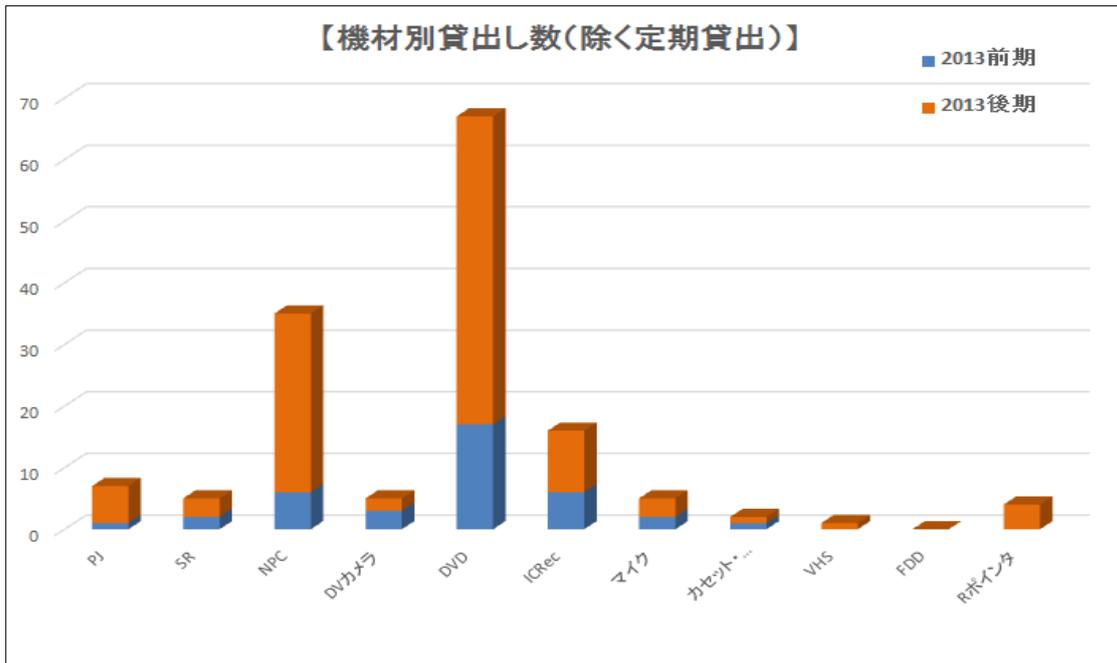


図 4 操作説明内容

④ 貸出機器の内容（表 1 参照）

貸出機器ではリージョンフリーの DVD プレーヤーや、ブルーレイプレーヤーなどが特に多く、次にノート PC が続く。イベント用などに IC レコーダーの貸し出しも目立つ。

その他ビデオカメラやスクリーンも機種が整備されたため、幾分増加した。



(注) PJ：プロジェクター SR：スクリーン NPC：ノートPC ICRec：ICレコーダー

図 5 機材別貸出数

3. 2013 年度 AV サポート考察について

(1). トラブルについて

DVD プレーヤー関連が目につくが、部屋数の多い演習室の機器は古い機種を使用しているため、トラブルが多いと考えられる。次年度は更新が予定されているため、件数は減少の方向になるであろう。

プロジェクターでは PC 出力に関する内容が多いが、実際は PC 上の問題も含まれているために件数が多いものと思われる。本来は PC の件数が少し増えるはずである。次回からは分類をより明確にして確度を上げる必要がある。

(2). 設置トラブルについて

機器設置に関しては遠隔の件数が多数を占めるが、これは毎回設置や撤去が必要となり、回数が多いためである。現在週 1 コマであるが、将来更に増える事も予想される。

テレビ会議は前述の通り設置や説明が増えているが、扱いがメディアセンターに移管されたためであろう。日常の点検も注意する必要がある。

(3). 操作説明について

各項目のなかで教室数の割には AV 操作卓の割合が少ないように感じる。これは比較的新しい教室は操作パネルや機器が統一されており、一度使用すれば他の教室でも共通となるからであろう。また内容もシンプルに構成されているため、マニュアルを見れば安易に理解できるものとする。

今後の授業では、演習室から大教室に至るそれぞれの教室において、より効果的な機器の導入が予想される。その場合、機器構成のまとめ方次第でシステムの使い勝手に大きく影響があるだろう。トラブルを防ぎ、より使いやすいシステムを提供するには、利用者サイドに十分耳を傾ける必要がある。

(4). その他

2号館や3号館の古いシステムが近々更新される。それに伴いトラブルや機器設置件数等が減少されると予測している。

今後これらのサポート集計もデータをより細分化して行うため、更に明確な状況判断が期待できる。